

○ 平成30年度の経営目標達成状況及び平成31年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)											
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H30)	H29実績	H30目標	H31目標	ウエイト (H31)	中期経営計画 (H27~H31)		H31目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績[見込]			H31目標	最終年度 目標	
① 施設(ピースおおさか)の利用促進	入館者数		人	20	68,586	78,000	78,000	20	90,000	90,000	前年度目標と同数とし、目標達成に向け引き続き利用促進を図る
						× 69,539					
	市町村教育委員会・校長会等・企業へのPR		回	10	35	31	33	10	-	-	前年度実績を上回る目標値とする
						32					
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										具体的活動事項	
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当財団は、①大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ②空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料の収集、保存、展示等を通じて、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝え、平和を願う豊かな心を育むことを目的に、「大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム」大阪国際平和センター(ピースおおさか)の運営を基幹事業としている。</p> <p>○博物館や資料館のような施設は、どれだけの人々が利用したかが第一の関心事であり、その活動の重要指標として捉えられることが通常であることから、当財団においても、「施設(ピースおおさか)の利用促進」を最重点目標とするものである。</p>										
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○当財団の運営費のほとんどは府市の補助金に依拠しているが、平成20年の財政再建プログラム案において「府派遣職員は必要最小限とし、民間活用等により運営コスト抑制」「特別展・企画事業への補助は中止」とされ、それ以降の補助金の減額も相まって、組織体制、事業展開とも極めて厳しい状況にある。このため、自主収入の確保を図りつつ、限られた人的資源・パワーを生かして、法人の目的達成につながる諸事業の効果的な展開が求められている。</p> <p>○先の大戦を自らの体験として語れる人は少なくなるばかりであり、当時の人々の思いや戦争の悲惨さ・平和の尊さを伝えていく手段として、ピースおおさかの展示は今後ますます重要となっていくものと考えている。</p> <p>○このため、「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」に抜本的にリニューアル(平27.4.30リニューアルオープン)したピースおおさかを基幹として、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へ伝えていくこととする。</p> <p>○なお、展示リニューアル後も、研究の進展や世界の動きなどに対応した柔軟な展示、平和についてのワークショップの展開などソフト面での事業展開に工夫をこらしていくことも必要である。</p> <p>○また、展示そのもののクオリティ、魅力の向上に加え、各種広報媒体や「出かける展示」など館外での利用促進を通じた積極的な情報発信、魅力あるイベント(特別展・企画事業)の実施による誘客のほか、ミュージアムグッズの充実なども必要である。</p>										
活動方針	<p>①(小中学生を中心としつつ)幅広い層に向けて施設の情報発信を行っていく。</p> <p>②魅力あるイベントの実施やミュージアムグッズの充実を図っていく。</p> <p>③平和に関するワークショップを展開していく。</p>										
	<p>①学校等に向けた情報提供・働きかけ 外国人等の観光客に向けた情報提供・誘導 各種媒体を活用した情報発信の充実</p> <p>②特別展、企画事業の実施、ミュージアムグッズの充実</p> <p>③平和に関するワークショップの展開等</p>										

## II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H30)	H29実績	H30目標	H31目標	ウエイト (H31)	中期経営計画 (H27~H31)		H31目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績〔見込〕			H31目標	最終年度 目標		
② 効果的な情報発信	入館者総合満足度 「とてもよかった」+「よかった」/全回答(「と てもよかった」+「よかった」+「よくなかった」 +「とてもよくなかった」) ※無回答・不明除く		%	15	95	90	↓ 90	15	90	90	中期経営計画の目標値と する	・特別展、企画事業の実施 ・ミュージアムグッズの充実 ・平和に関するワークショップの展開 等
						94						
③ 館外での利用促進	貸出資料利用人数		人	15	140,616	140,000	↓ 142,000	15	142,000	142,000	中期経営計画の目標値と する	・「府内学校園」以外の情報提供先の 開拓 ・集客力の高いイベントでのPRなどに よる貸出先の開拓
						145,392						
	出かける展示		回	15	16	12	12	15	6	6	さらなる館のPRのため、中 期経営計画の目標値を上 回ることとする。	・出店経験のあるイベントでの継続実 施 ・集客力のあるイベント等の新規開 拓、展示内容の工夫
						12						

## III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 自主財源の確保	平和寄付金収入		千円	15	1,430	1,050	↓ 1,155	15	1,155	1,155	中期経営計画の目標値と する	・寄附の税優遇措置のPR、あらゆる機 会をとらえた説明、協力依頼
						1,302						
⑤ 運営コストの抑制	入館者1人当たりの事業費 (「一般会計」支出合計(事業活動支出額)/ 入館者数)		千円	10	1.1	1.0	1.1	10	0.8	0.8	入館者目標78000人を想定 して試算した目標値とする	・運営コスト抑制の取組みの継続 ・目標入館者数の達成
						× 1.2						

### 【凡例】

- ・☆はH31年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値